氏名	岡 崎 昌 一
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 6 1 号
学位授与の日付	昭和38年12月16日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 （学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**有機燐剤中毒に関する研究**
論文審査委員	教授 平 木 潔　教授 小 坂 淳 夫　教授 山 崎 英 正

学 位 論 文 内 容 要 旨

著者は我国のみならず世界的に医学，農業，或は軍事上の重大事として関心が持たれている Parathion 中毒によって代表される有機燐剤中毒の治療に明らかにされた病態生理から出発して新たに作られるに至った薬品 PAM (Pyridine-2-Aldoxime methiodide) の有機燐剤特に Parathion に対する効果について，動物実験及び患者に対する臨床経験より確効を奏することを明らかにし，同時に臨床的観点から PAM の毒性並びに生体内分布を検討し毒性の少ないことを証明すると共に，その他の有機燐剤中毒に対する効果についての見解を解明し，PAM 以外の新しい Oxime についても Parathion 中毒に対して PAM より優れた効果があるか否か，或は構造式を異にする他の有機燐剤に対しても効果があるか否かを明らかにし，PAM とこれ等新しい Oximeとの評価を確立する目的で実験を行ない，更にこれら Oxime の臓器 Cholinesterase に対する影響を検討すると共に対照として有機燐剤中毒の影響も検索し，何れも所期の目的を達した結果を得ており，その業績は有機燐剤中毒治療に関する有意義な新知見である。

（昭和35年7月　岡山医学会雑誌　第72巻　5，6，7合併号（786号，787号，788号）に掲載）

論文審要の結査の要旨

岡崎昌一提出の「有機燐剤中毒に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

著者は我国のみならず世界的に医学，農業，或は軍事上の重大事として関心が持たれている Parathion 中毒によって代表される有機燐剤中毒の治療に，明らかにされた病態生理から出発して新たに作られるに至った薬品，PAM (Pyridine-2-aldoxime methiodide) の有機燐剤，特に Parathion に対する効果について，動物実験及び多数の患者に対する臨床経験より確効を奏することを明らかにし，同時に臨床的観点から PAM の毒性並びに生体内分布を検討し毒性の少ないことを証明すると共に，その他の有機燐剤中毒に対する効果についての見解を解明し，PAM 以外の新しい Oxime のうち Pyridine 核を有する 4 種類をえらび，それらについても Parathion 中毒に対して PAM より優れた効果があるか否か，或は，構造式を異にする他の有機燐剤に対しても効果があるか，否かを明らかにし，PAMとこれ等新しい Oxime との評価を確立する目的で実験を行ない，更にこれら Oxime の臓器 Cholinesterase に対する影響を検討すると共に対照として有機燐剤中毒の影響も検索し，何れも所期の目的を達した結果を得ており，その業績は有機燐剤中毒治療に関する有意義な新知見である。

以上の通り本論文は新しい知見に富み，学術上有益であり，著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。